

自然界の益虫の力で害虫を撃退！！ クレオメによるIPMの取組を紹介します

JA豊橋ナス部会では、害虫「コナジラミ」・「アザミウマ」を食べる益虫「タバコカスミカメ」を活用した対策が広がっています。昨年度から実験的に開始しており、令和4年度は対策の結果①管理の労働時間 25%削減②農薬費 23%削減③販売単価7円/kgアップと、一定の効果を得ることができ、今年度はさらなる普及に取り組みます。



クレオメの葉にとまる
「タバコカスミカメ」
体長は約3mm

「コナジラミ」は化学農薬の効果薄い「難防除害虫」の1種で、ナスでは植物から吸汁して樹勢を落とすほか、排せつ物からすす病を発生させ、商品価値を落とすため、非常に厄介な害虫です。



ナス部会で鉢植えのクレオメを管理している

従来は化学農薬による適時防除で対応してきましたが、「コナジラミ」の難防除性に加え、①みどりの食料システム戦略を見越した減農薬の対応②労働力の低減③害虫被害を抑えて品質向上——を目的に、昨年度より「タバコカスミカメ」を試験導入しました。

同部会では、部会の圃場で「タバコカスミカメ」が好むクレオメをハウス内で栽培し、自然界にいる「タバコカスミカメ」を集めて部会員のハウス内に放飼しています。「タバコカスミカメ」は雑食で、放飼したハウス内に「コナジラミ」などの害虫がいなかったとしても、クレオメの樹液を吸汁して生きることができるため、「コナジラミ」の発生前から放飼し、予防的な効果（待ち伏せ効果）も期待できます。

導入している部会員からは「害虫が多くなる春先以降に、害虫の発生がはっきりと少なかった。農薬の回数が減らせた。」と、確かな手応えを感じる取り組みとなっています。

JA豊橋ナス部会 令和4年度の取り組みと実績

取組農家数：23人/53人 所得向上効果：945万円（概算）
今年度の取り組み（目標）
取組農家数：30人/53人 所得向上効果：1,228万円

【お問い合わせ先】

JA豊橋 総務部組合員課（担当：加藤・鈴木） Tel(0532)-25-4105
携帯 090-3830-9165 E-mail: kouhou@toyohashi.aichi-ja.or.jp